

小学校 第5学年 音楽科 学習指導案

青森県八戸市立長者小学校
校長 石井 一二三

題材名 音楽のききどころ（3時間）

題材のねらい

- 曲想と旋律など音楽の構造との関わりについて理解する。
- 旋律、反復、変化、呼びかけとこたえなどを聴き取り、そのよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴く。
- 曲の特徴を見だしながら聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、オーケストラの響きに親しむ。

本時のねらい

曲想と旋律など音楽の構造との関わりについて理解するとともに、旋律、反復、変化、呼びかけとこたえなどを聴き取る。

指導時期 1月下旬～2月上旬

指導者用デジタル教材活用の意図・目的

鑑賞の学習では「曲全体を味わって聴く」ことが大変重要であり、これは、曲を何度も繰り返し聴かせることにより成立する。また、ただ聴かせるのではなく、観点をもって聴かせることで、曲想と旋律など音楽の構造との関わりについて理解することができると考える。

しかし、鑑賞の授業は、曲を聴いて感想文を書くことがゴールとなっていることが多く、「味わって聴く」というねらいにせまることが難しいと感じている。

そこで、このような状況であっても、デジタル教科書・教材を活用することで、教師は、鑑賞の学習に必要な指導内容を明確に説明できるようになり、児童は、視覚と聴覚の両方を使って鑑賞のための技能を身に付けることができるようになると期待される。まさに、デジタルのよさを生かした学習活動が展開されると考える。

本時(第2時)の展開

	活動内容	デジタル教科書・教材の活用
導入	<ul style="list-style-type: none"> ● 「指導者用デジタル教材」の初期画面を開き、「目次を開く」から「つるぎのまい」のページを表示する。 	

	活動内容	デジタル教科書・教材の活用
導入	<ul style="list-style-type: none"> ● 全パートの音源を聴き、おおまかに曲想を捉える。 ● 「まなびリンク」の楽譜アニメーション動画（楽譜と音源が連動する動画）を視聴し、曲の特徴を捉える。 ● 楽譜上のハイライトされた音符に着目しながら聴く。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 指導者用デジタル教材「つるぎのまい」のページの鑑賞音源を再生する。 <div data-bbox="852 232 1485 533"> </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 「まなびリンク」にある動画を再生する。 <div data-bbox="852 607 1485 752"> <p>ばんそうのくり返しや、主なせんりつのくり返しと変化などに気をつけながらきいてみよう。</p> </div> <div data-bbox="852 763 1485 1064"> </div>
展開	<ul style="list-style-type: none"> ● 「ばんそうのくり返し」に着目して各パートの音源を聴く。 ● 「主なせんりつのくり返しと変化」に着目してアとイの各パートの音源を聴く。 <p>※展開の活動では、1人1台学習者用端末を使って、自分の聴きたい順番に、必要な回数繰り返して聴く。</p>	<div data-bbox="852 1099 1485 1350"> <p>ばんそうのくり返し</p> <p>曲の最初から出てきてくり返し続く、リズムや音の形に注目しよう。</p> </div> <div data-bbox="852 1368 1485 1731"> <p>主なせんりつのくり返しと変化</p> <p>アのせんりつ</p> <p>合いの手</p> <p>せんりつにこたえるように、短く入るよ。きこえたら、手で表そう。</p> <p>トロンボーン など</p> </div> <div data-bbox="852 1749 1485 2101"> <p>イのせんりつ</p> <p>曲のとちゅうで速さは変わるかな。</p> <p>サクソフォーン チェロ</p> <p>オーケストラ …30、32ページ</p> </div>

	活動内容	デジタル教科書・教材の活用
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 再度「まなびリンク」にある楽譜アニメーション動画を視聴し、「ばんそうやせんりつのくり返しや変化」について楽譜の動きと結びつける。 	

指導者用デジタル教材を活用したことで得られた効果

本時の展開場面

ばんそうのくり返し



ティンパニ

曲の最初から出てきてくり返し続く、リズムや音の形に注目しよう。

本題材は、以下の評価規準をもとに活動内容を設定している。

【主 - ①】「つるぎのまい」の特徴を見いだしながら聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

【知 - ①】「つるぎのまい」の曲想と、旋律など音楽の構造との関わりについて理解している。

【思 - ①】「つるぎのまい」の旋律、反復、変化、呼びかけとこたえなどを聴き取り、そのよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見いだし、曲全体を味わって聴いている。

鑑賞の学習において、上記の評価規準を達成するためには、児童一人一人が自分の聴きたいところを何度も繰り返し聴いたり、示された楽譜をもとに意見を交流したりする活動が必要不可欠となる。そこで、デジタル教材を活用することで、本時の展開場面やまとめの場面のよう、楽譜や音符をガイド表示し、曲中のどこを演奏しているかを明確にしたり、自分のペースで何度も繰り返し曲を聴くことを可能としたりしたことで、児童は、主体的に曲のよさを見いだし、曲全体を味わって聴くことができるようになった。